

障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業（ICT の導入支援）における導入事例

法人名 社会福祉法人湊明会

事業所名 障がい者サポートセンターきらり

1. 製品名

- ・ A I ボイスレコーダー PLAUD NOTE 3 台
- ・ 1200 分文字起こし可能/月 有料プラン 3 式

2. ICT 機器導入前の課題

- ・ 障害福祉サービスを利用する障害児者が増加する一方、障害分野での就業を希望する人材が不足している。相談支援従事者は地域の状況から直接的な支援も実施する中、事務的な業務に従事する時間が確保できず、勤務時間外での計画作成が余儀なくされている。また、支援記録を入力する時間が確保できない状況にある。

3. ICT 機器導入の推進方法

- ・ 実際に ICT 機器を使用している相談支援専門員を講師に招き実地指導を受けた。
- ・ ICT 導入にあたり、責任者が相談員個々の PC にセットアップを実施、マニュアルを作成し全職員に対し研修会を開催した。
- ・ 経験者が面談、会議等で ICT 機器を使用し、その効果を参加者が実体験できる機会を設けた。

4. ICT 機器導入後の成果

①業務効率化について

- ・ モニタリング記録票の作成にかかる時間は 57%削減、支援記録の入力は 80.5%の削減と大幅に事務業務の効率化が図られた。

②職員の負担軽減について

- ・ 面談の際の聞き逃しがなくなり、メモを取りながら面談しなくても良いことからスムーズに進行できる。また、記録者を準備する必要はなく、会議要約を参加者に共有することも安易となった。

5. 今後の課題

- ・ ICT に苦手意識を感じている職員もいることから全員での使用には現時点では至っていない。
- ・ 本人の同意が取れない場合は機器の使用ができない場合がある。

6. 写真



ホームページ掲載

[介護テクノロジー（ICT 機器）導入による業務効率化への取り組みについて | お知らせ | 社会福祉法人 溪明会](#)

<https://www.keimeikai.jp/news/4982/>